

使用上の注意、および日常点検やブレーキ・変速機の調整については、別冊「取扱説明書」をご参照ください。

【はじめに】

まずは自転車を箱から取り出し、下記付属品を確認してください。

万一不足があった場合は「取扱説明書」に記載の弊社製品サポートまでお問い合わせください。

【付属品】

組立説明書（本書）、取扱説明書、簡易工具類（板レンチ・六角レンチ）

## OWNER'S MANUAL

オーナーズマニュアル



<http://www.doppelganger.jp/om/>

PC 又はスマートフォンからご利用頂けます。

※携帯サイトには対応していません。

自転車組立のオンラインマニュアルをご用意しております。  
モデル別に動画と静止画にて詳しく解説しております。

## DOPPELGÄNGER®

※当説明書内容の無断転用を禁止します。

Copyright 2014 BE-S CO.,LTD. All rights reserved.



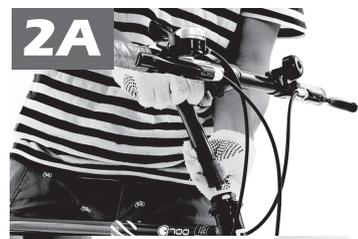
1

自転車の前フレームと後フレームを左図のように開きます。フォールディングレバーを引き上げながら前後のフレームを接合し、レバーは前フレームまで通します。



フォールディングレバー

フレームがしっかりと固定されているかを確認し、フォールディングレバーをフレーム後半部に向かって押し込み、レバーを固定します。



2A

### 〈スレッド式ステムの場合〉

ハンドルステム上部のボルトを少しだけ緩め、下部先端の保護材を外した後に、自転車のヘッドチューブへ差し込みます。この時、ブレーキやシフト(変速)ワイヤーに絡まりがないか確認してください。また、はめ合わせ限界線が隠れる位置まで差し込んでください。

ハンドルステム上部のボルトを、六角レンチで固定します。

※ハンドル操舵部につき、不完全な固定は危険です。確実に固定してください。

### △ 注意

標準取付トルク：  
16-25N/m (160-250kgf/cm)



### 〈フリーフィットステムの場合 1〉

ハンドルを持ち上げ、ハンドルステムを起こします。

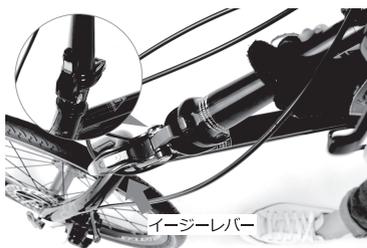
ハンドルステムまっすぐにした状態で、折りたたみ部のノブを時計回りに回し、確実に固定します。

※ハンドルを起こす際、ハンドルステムと固定具が干渉する時は、一旦ノブを反時計回りに回して緩めてから、再度組み付けてください。

※ハンドル操舵部につき、不完全な固定は危険です。確実に固定してください。

#### △注意

標準取付トルク：  
16-25N/m (160-250kgf/cm)



イージーレバー固定式の場合は、ハンドルを起こした状態で折りたたみ部がカチッと音がするまで押し込みます。

ここで爪が溝にしっかりと引っかかっているかを確認し、レバーを引き上げて固定します。

※ハンドル操舵部につき、不完全な固定は危険です。確実に固定してください。



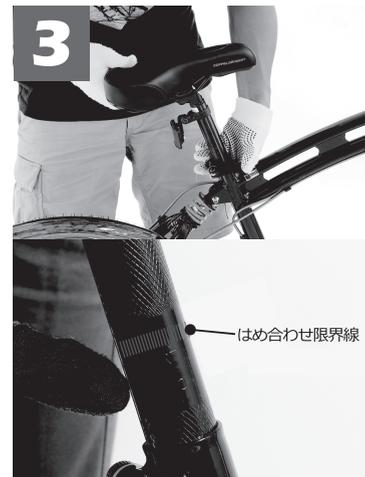
### 〈フリーフィットステムの場合 2〉

ハンドルステムの上部にあるクイックリリースレバーを開放します。

ハンドルをお好みの高さに設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。

※ハンドル操舵部につき、不完全な固定は危険です。確実に固定してください。

※固定力が弱いと感じた時は、レバーを緩めた状態で反対側にあるナットを時計回りに締め、再度クイックリリースレバーを押し込んでください。



サドルを自転車のシートチューブに挿入し、お好みの高さに合わせてください。この時、はめ合わせ限界線が隠れる位置まで差し込んでください。限界線を超えた状態の固定は、フレームに負荷がかかり大変危険です。

サドルをシートクランプ（クイックリリース、又はボルト）で固定します。



ペダルは軸先端を確認し、

(R) と記載されるペダルは右クランクに時計回りで、(L) と記載されるペダルは左クランクに反時計回りで取り付けます。

※ペダルの取り付けは、まず手締めでネジ山が隠れるところまで仮止めした後、工具で固定してください。ネジ山とネジ穴が合っていない状態で締め付けると、破損する可能性がありますのでご注意ください。  
※モデルによっては軸先端に記載の無い場合があります。

#### △注意

標準取付トルク：35-45N/m (350-450kgf/cm)  
取り付けが不完全な場合、走行中にペダルが脱輪する危険があります。

## 完成



以上で組立完了です。

乗車前に各部に緩みやガタツキがないか、部品はしっかりと取り付けられているかを十分に確認してください。